

1977年に開通した
平戸大橋は2027年で
50周年を迎えます。
「つないだ50年、つなぐ未来」を
記念し、花火大会を実施します。

平戸大橋架橋50周年記念
― プレイベント ―
花火大会

日時／11/28(土) 令和8年 16:00～

会場／平戸港交流広場

ステージイベントや、飲食ブースなどで花火大会を盛り上げます。

16:00～ ステージイベント
19:00～ 開会セレモニー
19:15～ 花火打ち上げ

平戸大橋の長さにちなんで665発の花火を打ち上げます。

臨時駐車場：平戸文化センター・猶興館高校
亀岡グラウンド駐車場

■主催 平戸市 ■お問合せ 観光課 ☎22-9140
【受付時間：8:30～17:15(土・日・祝日を除く)】

地域おこし協力隊活動報告 vol.20

暑さと戦った夏、そして実り多き秋へ

西川（にしかわ） 有記（ゆうき） 隊員

平戸市ホームページに活動報告を随時掲載します。ぜひご覧ください。▶

問 企画課移住・定住政策班 ☎22-9105

酷暑を乗り越え、収穫の喜びを感じています

今年は本当に暑い夏でした。手探りでスタートした夏野菜栽培は連日の日照りで残念ながら枯らせてしまった作物もありましたが、キュウリやオクラ、とうもろこし、スイカなど収穫することができました。

晴れた日には秋野菜の種まきを

夏が終われば今度は秋野菜の種まきです。大根はさまざまな品種の種を揃えて植えてみましたが、気づけば大量になってしまい、収穫が楽しみな一方、大変な作業になるのではと戦々恐々です。

ほかにも根菜類や葉物、豆類なども定植しています。色々な秋野菜が時期になればきっと多くの実をつけることでしょう。収穫の際には、ぜひ皆さんのお力をお借りしながら掘り起こしたいと考えていますので、ご協力いただけると嬉しいです。


▲秋晴れの下での種まき


▲冬の鍋の必需品、葉物野菜の苗植え


▲顔より大きい巨大スイカ


▲品評会に出されたスイカ

生活環境班コラム

みんなでつくろう住み良いひらど vol.30

リチウムイオン電池の捨て方

小型家電製品（携帯電話やコードレスタイプの掃除機・電気シェーバーなど）やモバイルバッテリーには、リチウムイオン電池が使われています。

リチウムイオン電池は、強い力が加わると発火の恐れがあり大変危険です。

ごみとして出す際は、収集・運搬・処理が安全に行われるよう、次の点にご協力をお願いします。

絶縁処理

電極端子部が露出している場合は、ショートを防ぐためにテープ類で端子部をしっかりと覆い、絶縁してください。

小型家電製品などで電池部分を分離できない場合

無理に分けようとせずに、そのままの状態でごみに出してください。

分別と出し方

リチウムイオン電池は「危険物」のごみです。

ごみ袋に入れる際は、小袋に入れるなど他の危険物と中身を分けてごみステーションに出してください。

また、安全に回収するために、市民課生活環境班の窓口でも回収を行っておりますので、ご利用ください。


▶端子部の絶縁

問 市民課生活環境班 ☎22-9121

国際交流員の日記

我在平户 vol.22

吃瓜（チーグア）、摸鱼（モーユー）、种草（ジョンツァオ）、YYDS

10月から、今年度の北部公民館中国語・文化講座を開催しました。

講座では、今の中国のネットで流行っている面白い言葉も紹介します。次の言葉は、どんな意味でしょう？漢字から想像してみてください。

「吃瓜（チーグア）」は直訳すると「スイカを食べる」という意味です。ネットのニュースやうわさを、当事者ではない立場から眺めるという意味で使われます。「何があったの？」と続きを見守る人は「吃瓜群众（チーグアチュンジョン）」と呼ばれます。

「摸鱼（モーユー）」は直訳すると「魚を触る」という意味です。仕事中に、こっそり一息つくという意味で使われ、勤務中少しスマホを見るのも「摸鱼」です。

「种草（ジョンツァオ）」は直訳すると「草を植える」という意味で、SNSで見た商品や店を「欲しい」「行きたい」と思うこととして使われます。心に「欲しい気持ち」が芽生えるイメージです。

「YYDS」は「永远的神（ヨンユアンディシェン）」のピンイン（中国語の発音記号）の頭文字で「最高」「神」という意味です。例えば、「大谷翔平、YYDS！」

平戸の皆さんに身近な例を考えましたが、皆さんならどのように使いますか？SNSで教えてください。中国講座で紹介します！


▶インスタグラムはこちら



国際交流員
張 芸（チョウ・ゲイ）
（中国出身）

問 文化交流課交流推進班 ☎22-9143